千春大いに語る

「おくさまジャーナル」で

STVラジオの「おくさまジャーナル」は毎週月曜日から金曜日まで午前十時から一時間五十分の喜瀬浩アナウンサーによる主婦向け番組ですが、十二月四日に松山千春がはじめてゲスト出演しました。

喜瀬　お手紙やおハガキをもらっているのですが、今回は松山千春君がといいましたら三倍くらいきましてネ

千春　うれしいですネ

喜瀬　こちらはガッカリしてますけどー

千春　どうい意味ですか大丈夫かな、オレこんな崇高な番組に出てやっていけますか（笑声）

喜瀬　ハガキきてましてネ、室蘭の二児の母、二十七才の奥様からですが「千春さま、アタック・ミセスのコーナー誕生おめでとうございました、このあと東京とかスケジュールびっしりなんでしょう

千春　オールナイト・ニッポンがありますので、このまま行かさせて頂きます

喜瀬　二十七才の札幌の奥様なんですけど、主人も千春さんの大ファンなんです

千春　いい家庭ですネ、円満ですネ（笑声）

喜瀬　ところが円満でないんです、クリスマスに千春さんのLPを買うことになったのですが、このあいだテレビに一度出ただけでもう出ないというのは井上陽水のようにLPの売上げを伸ばすためにテレビに出ないセコイ考えならLPを買うのやめると冗談半分に言い出しているのですが、LPを売るためにテレビに出ないのではないということをハッキリ言って頂きたいと思います、そうしたら買ってもらえると思います

千春　LP買ってもらえるかどうか、これは大きい問題ですよ

喜瀬　奥様方から喜見とえてるんですけど、どれをとってもうまくいかないんです、なるべくならテレビに出てくれへき地の人たち足寄町のようなところ、コンサートはこないから、島山みどりとかネ、（笑声）九時からだが八時くらいにテレビに出てほしいといわれるんですけど、悪いけどテレビで歌うの歌いずらいんです、カメラを持った人がいかかる、すごく来ばくらい一生懸命やってる、その前で歌うのは気分もなにも出されるんです、時期がくれば出ようかなあと思う、しばらくはコンサートでまわっていこうというのはすごく抱束されるんですよ、たとえばあの番組、違う局ですけど、あれたいとか、どんな風になるのか楽しみでネ

喜瀬　季節の中でを五木さんが歌うわけ、新沼さんもー

千春　そうですネ

喜瀬　お便りでネ、この番組いろいろな人が聞いていると思いますが、息子のような年令の方も沢山いると思いますが、千春さんが、普通の歌謡曲両親に対しての考え方などの歌手はすごく華やかなんですよ衣裳にしても競ってキンキラであれについて行けないですよオレたちは、ああいう人たちと同じ土俵に出されても勝負できないですよ土台、ジャンルが違うからネ

『カメラの前で歌うのはつらいヨ』　（ザ・ベストテンの場面から）

喜瀬　話してくれますか季節の中でいいですネなんてこのあいだ新沼謙治がLPに入れたいとか、五木ひろしがオフクロの味だなんていうものないんですよ、帰ってきたらオレたちに小づかいをくれたりしたのが愛情を注いでくれたのかなあって思っている

喜瀬　あつたりするとどんな風に声かけてくれるの

千春　おやじは元気かって声かけてくれけど、おつかはうるさいですよ、お前じゃはなんとか引きとめようとして、引きとめるにはどうしたらいいだろう、自分のものにするしかないだろう、できた子供がオレだもの、たまんないよ（笑声）

喜瀬　血のつながりは恐しいものですネ―そうですたのですが、あとでこの方が千春君のお母さんと聞いてビックリしました、とても楽しいお母さんでいいですよ土台、ジャンルが違うからネ

（笑声）すごいですよ、あのガキのときから?うちは新聞をやってるでしょう、おやじも趣味ではじめたようなものでー

喜瀬　自分でなにもかに楽屋での雰囲気などどうですか

千春　つらいですよ、驚いてしまうんですよ、オレたちだあって、たまんないですよ

喜瀬　息子も慰問団やってるわけでー（笑声）

千春　どういう意味、それで知り合ったらしい、そのころおやじラッパ吹いておつかが踊り子でー

喜瀬　それでお父さん、お母さん知り合ったんですか

千春　他愛もないことなんですよ（笑声）そこでおつかがその楽団をやめようということになったんですよ、おつかは踊り子たちのリーダーだったので、おやじはなんとか引きとめようとして、引きとめるにはたいしたことじゃないんだ

喜瀬　二十八才の札幌の奥様なんですが、足寄の公民館で親戚の結婚式があり、自分の子供たちへ別な見方が出てくると思うんですが、うちはネ、おやじあおいう人たちと同じ土俵に出されても勝負できないですよ土台、ジャンルが違うからネ

千春　おやじは元気かって声かけてくれけど、おつかはうるさいですよ、お前じゃはなんとか引きとめようとして、引きとめるにはどうしたらいいだろう、自分のものにするしかないだろう、できた子供がオレだもの、たまんないよ（笑声）

喜瀬　血のつながりは恐しいものですネ―そうですたのですが、あとでこの方が千春君のお母さんと聞いてビックリしました、とても楽しいお母さんでいいですよ土台、ジャンルが違うからネ

（笑声）すごいですよ、あのガキのときから?うちは新聞をやってるでしょう、おやじも趣味ではじめたようなものでー

喜瀬　自分でなにもかに楽屋での雰囲気などどうですか

千春　つらいですよ、驚いてしまうんですよ、オレたちだあって、たまんないですよ

喜瀬　二十八才の札幌の奥様なんですが、足寄の公民館で親戚の結婚式があり、自分の子供たちへ別な見方が出てくると思うんですが、それによってとても踊りの上手な奥さんがいて写真を沢山撮ってきたのですが、あとでこの方が千春君のお母さんと聞いてビックリしました、とても楽しいお母さんでいいですよ土台、ジャンルが違うからネ

千春　悪いと聞いていかがですか忙しい千春君ですが時間のある限りお母さん孝行して下さい、とのことですが、踊り上手なんですか

千春　ハダカ踊りじゃなもやるんでしょう

千春　一人で活字をひろって印刷機械にかけて新聞をつくるんですよ、オレたち配達したりしたが金になりたいんですよ、おつかはもも慰問団長やってたんです

喜瀬　息子も慰問団やってるわけでー（笑声）

千春　どういう意味、それで知り合ったらしい、そのころおやじラッパ吹いておつかが踊り子でー

喜瀬　それでお父さん、お母さん知り合ったんですか

千春　他愛もないことなんですよ（笑声）そこでおつかがその楽団をやめようということになったんですよ、おつかは踊り子たちのリーダーだったので、おやじはなんとか引きとめようとして、引きとめるにはどうしたらいいだろう、自分のものにするしかないだろう、できた子供がオレだもの、たまんないよ（笑声）

喜瀬　血のつながりは恐しいものですネ―そうですたのですが、あとでこの方が千春君のお母さんと聞いてビックリしました、とても楽しいお母さんでいいですよ土台、ジャンルが違うからネ

千春　悪いと聞いていかがですか忙しい千春君ですが時間のある限りお母さん孝行して下さい、とのことですが、踊り上手なんですか

千春　ハダカ踊りじゃなもやるんでしょう

千春　一人で活字をひろって印刷機械にかけて新聞をつくるんですよ、オレたち配達したりしたが金になりたいんですよ、おつかはもも慰問団長やってたんです

千春　二三代ガンバレ／てひとこと願いします

喜瀬　売上げはどこへ入るんですか

千春　そのお店でないでいいですが、名前を適当につけてください

喜瀬　千春牛乳ってー

千春　オレから出たんでないってコツプに入れて包装して千春も飲んだ牛乳よってーいなかください（笑声）

喜瀬　お手紙で、私の家は士幌です、いつも家へ帰る時はカラツマを利用していますが、千春さんこのごろ利用していますか、あの夜行列車なんともいえません、カラツマで帰りませんか

千春　利用してますよ、札幌発午後十時二十分、足寄へ朝八時ころ着くんですか、サンデージャンボ・スペシャルというSTVの番組ですが、足寄から土曜日に出て日曜日に帰る、行くときは特急で一応格好よく行くが帰りは金がないんですよ、ギヤラがたいしたことがないから、STVは沢山くれましたよ、くれましたけどたいしたことないんですよ（笑声）それでカラツマで帰るんです、寝台券買わないでネ、

喜瀬　痛い、痛い、STVとしてはー（笑声）

千春　金がなくてよくカラツマで帰りました、狩勝峠をこえて新得あたりで朝なんですよ、この辺から十勝平野がリッパなんですよ白々明けてくるのが最高の気分ですよ

喜瀬　新年をという話しがあるんですが、新しい年はどんな風に迎えられそうなのかナ

千春　オレよくいっているんです、盆と正月だけは足寄に完ぺきにいたい、クリスマス以降は仕事はしないといわれようと出ない（笑声）―以下オ一面へ―

室の主筆

○…千春の誕生日を祝って沢山の小包が毎日のようにはこばれてきましたし、前日から当日にかけてこれまた沢山の祝電かなら生花まで、もちろんバースデーカードもどっさり、本当にありがとうございました。

○…ご心配を頂きました千春の母は、おかげさまで十日に札幌の病院から全快退院しました、千春も手術にポン」から千春がおりると台に汽車通学する男女高校生が車内で顔を合わせているうちに互いを意識し合う

このドラマは、釧路を舞りアルなものを追求して一年間にわたつてドキュメンタリー技術を生かしたもので、ドラマの進行は千春の歌でつなぎ、そのなかで千春はデイスク・ジョッキーの場面や釧路でのコンサートの風景のなかで登場します。

○…次号には十二月十六日の誕生日を迎えた「千春イン釧路」のもようを掲載する予定です。

○…「オールナイト・ニッポン」から千春がおりるというウワサが飛んでいるようですが、本人はまだまだガンバリます。

○…STV創立二十周年を記念しての冒春テレビドラマ「一年」は倉本聡氏の脚本、千春の音楽担当ですでに完成しましたが、なにかで感情表現をしている、役者を使うとどうしてもしゃべりや表情で表現しようとしてしまう」といい、よいオ一面へ―

STV「おくさまジャーナル」で松山千春がゲスト出演